



# 文化財 まちあるき マップ

## 愛鷹 編

旧根方道（愛鷹）周辺の文化財をめぐる



赤野観音堂

“まちあるき”の際は、車に十分注意しましょう！



タカオさんとジッキー2号  
(高尾山古墳マスコットキャラクター)

沼津市教育委員会

### モデルコースA

～愛鷹を制覇したい人むけ～

歩行距離約 10.2 km 所要時間 約 5.0 時間  
消費カロリー 554kcal

**スタート** 小屋敷バス停

神明社  
中東神明宮  
↓  
1,200m 18分 66kcal

**① 不動堂**

無量庵  
玄昌庵・中尾神明宮  
↓  
1,500m 22分 81kcal

**② 西椎路自治会館の湧き水**

浅間神社・淡島神社  
法蔵院  
↓  
1,000m 15分 55kcal

**③ 宝珠院**

大喜寺  
癒守稲荷神社  
↓  
1,200m 18分 66kcal

**④ 双体道祖神**

↓  
850m 13分 48kcal

**⑤ 妙泉寺**

妙蓮寺  
↓  
1,400m 19分 70kcal

**⑥ 廣大寺**

桃澤神社  
↓  
650m 11分 40kcal

**⑦ 八畳石公園**

弘法大師堂  
↓  
900m 14分 51kcal

**⑧ 赤野観音堂**

↓  
1,500m 21分 77kcal

**ゴール** 柳沢バス停

### モデルコースB

～早足で回りたい人むけ～

歩行距離約 4.9 km 所要時間 約 2.5 時間  
消費カロリー 272kcal

**スタート** 小屋敷バス停

神明社  
中東神明宮  
↓  
1,200m 18分 66kcal

**① 不動堂**

無量庵  
玄昌庵・中尾神明宮  
↓  
1,500m 22分 81kcal

**② 西椎路自治会館の湧き水**

浅間神社・淡島神社  
法蔵院  
↓  
1,000m 15分 55kcal

**③ 宝珠院**

大喜寺  
癒守稲荷神社  
↓  
1,200m 18分 66kcal

**④ 双体道祖神**

↓  
70m 1分 4kcal

**ゴール** 鳥谷バス停

カロリー計算 体重 60 kg .80m/分

### 愛鷹地区の歴史年表

旧石器	約 100,000 年前 愛鷹山が噴火活動を終える 約 37,000 年前
	●西大曲遺跡 ●伊良宇祢A, B遺跡 ●土橋第Ⅱ遺跡 ●大廓遺跡 ●元野遺跡 ●元野橋南遺跡 ●元野第Ⅲ遺跡 ●鳥谷アラク遺跡 ●イタドリA, B, C遺跡 ●井戸川西遺跡 ●芝荒遺跡 ●赤野遺跡
縄文	約 16,000 年前 ●井戸川遺跡 ●西大曲第Ⅱ遺跡 ●中尾上遺跡 ●元野第Ⅱ遺跡 ●西大曲東遺跡 ●西大曲東第Ⅱ遺跡 ●角右衛門アラク遺跡 ●東原中アラク遺跡 ●川向遺跡 ●トヤ坂遺跡 ●藤ヶ久保遺跡
	約 3,000 年前 ●東ノ久保遺跡 ●芝切遺跡 ●春ノ木遺跡 ●久保遺跡 ●ヲカメ遺跡 ●目黒身遺跡 ●東荒遺跡 ●大芝原遺跡
古墳	西暦250年頃 ●下岡遺跡 ●中尾神明宮遺跡 ●山ノ神古墳A, B ●小屋敷遺跡 ●東原金山神社遺跡 ●東椎路神明古墳A, B ●青野中荒工遺跡 ●荒井遺跡 ●四ツ塚古墳群 ●柳沢古墳群 ●馬見塚古墳群 ●東原古墳群
	飛鳥 奈良 平安 鎌倉 室町 (戦国)
安土 桃山 江戸	●妙泉寺 ●浅間・桃沢神社 ●熊野神社 ●龍雲寺 ●妙蓮寺 ●久保の土豪屋敷跡
	1600年 ●八畳石 ●浅間神社 ●法蔵院 ●赤野観音堂 ●中尾神明宮 ●金山神社 ●不動堂 ●癒守稲荷神社 ●愛鷹浅間神社・金山神社 ●神明社 ●玄昌庵 ●中東神明宮 ●元野牧
明治	1868年 ●鷹恭舎（愛鷹小学校）●江原素六 ●旧根方道 ●鷹根村（愛鷹村）●無量庵 ●岡野喜太郎 ●柳沢競馬場
大正	1945年
昭和	●愛鷹中学校 ●沼津市と合併 ●東海道新幹線 ●東名高速道路 ●長倉三郎 ●新東名高速道路
平成 令和	2026年

※遺跡については、複数の時代に跨るものも紙面の都合上、掲載は一つとしています。

**はちじょういしこうえん**  
**⑦ 八畳石公園** (柳沢)



八畳石は、寛永12年(1635)の洪水で、東方の山腹にあったものが転落したものとわれています。石の種類は安山岩で高さは約3m、上面は平らになっていて約50㎡の広さがあります。このあたりは古くから赤野観音の霊地として知られ、臨済宗中興の祖である白隠禪師が少年時代にこの石の上で座って修行したと伝えられています。

**あけのかんのんどう**  
**⑧ 赤野観音堂** 市指定有形文化財 (柳沢)

江戸時代より駿河一国三十番札所及び横道十五番札所として知られています。江戸初期の建築様式による木造茅葺の寄棟造りで、名工、左甚五郎が藁人形に手伝わせて一夜のうちに造ったという伝説が伝えられています。境内には、西国三十三カ所の石仏や宝篋印塔、市指定天然記念物のカヤの大木があります。愛鷹山中腹の標高約150mの丘陵上に位置し、ここからの駿河湾や伊豆の眺望は絶景です。

文化財まちあるきマップ 愛鷹編「旧根方道（愛鷹）周辺の文化財をめぐる」  
2026年3月発行 発行・編集：沼津市教育委員会事務局文化振興課（沼津市文化財センター）

（久保）

**①① 不動堂（旧養福寺）**  
かつては、小屋敷にある龍雲寺の子院でしたが、現在は無住です。境内には、18世紀中ごろから後半にかけて造られた庚申塔や巡拝塔があります。石仏・石神の他に鳥居・灯笼などもあり、神仏習合の姿を留めています。また、明治8年(1875)には、この場所に愛鷹小学校の礎となった椎路舎が建てられました。



### ②② 西椎路自治会館の湧き水

(西椎路)

愛鷹山は富士山と箱根の間の谷間に位置し、この谷間を通して富士山の雪解け水や山麓の雨水が地下水となり、根方街道沿いや民家の庭など様々な場所で湧き水として現れています。愛鷹地区では、生活用水や水田の水源だけではなく、飲用している家庭も多いなど、古くから人々の生活に湧き水が利用されてきました。



### ③③ 宝珠院

(東原)

真言宗神道派の大本山で、本堂正面には本尊である不動明王像を、上座には和歌山県熊野本宮大社より分霊した家津御子大神を安置しています。本堂建設の際に古墳時代後期(6世紀後半～7世紀前半)に造られたと推定される東原5号墳が発見されました。被葬者はこの地方の豪族であったと考えられ、古墳は原寸の1/2縮尺で敷地内に復元しています。



### ④④ 双体道祖神

(鳥谷)

双体道祖神とは、道の辻や村境などに祀られる道祖神の中でも、男女二体が並んで祀られる姿を指し、縁結び、夫婦和合、子宝授けの神として信仰されています。この双体道祖神は市内唯一のもので、二体ともに頭の上に烏帽子状の突起を持ち合掌しています。愛鷹地区には11体の道祖神があり、塞ノ神と呼ばれています。旧根方道沿いに多く見られ、年号のわかるものはすべて19世紀以後の造立です。



### ⑤⑤ 妙泉寺

(青野)

文亀元年(1501)、法華宗の僧日蓮が愛鷹山麓の麓、阿野庄に草庵を結び、道仙庵と称したことが始まりといわれます。永正14年(1517)に書写された日蓮上人の御本尊は寺宝であり、「青埜山」の文字は地名青野の最古の記録です。なお、参道を登ったところにある山門は安政3年(1856)に当地大名であった大久保長門守より松長陣屋の表門を拝領したものです。



### ⑥⑥ 廣大寺

(柳沢)

山号を赤野山とし、赤野山廣大寺と呼びます。開創年代については不詳ですが、寺伝によると、阿闍梨胎情が寺を開いたと伝えられています。天文15年(1546)に13世の法印良宥が中興しました。現在の本堂は、昭和63年(1988)、第36世秀慶和尚の代に再建されました。境内には樹齢650年を超えるカヤやメタセコイアの大木があります。



# 文化財 愛鷹編

## まちあるきマップ

**愛鷹山**  
沼津で一番高い山（標高1,188m）。環境庁の選定した特定植物群落であるブナ林が分布し、多様な生物相を観察できます。標高800m以上に自生するアシタカツツジは植物学者牧野富太郎が命名しました。

**沼津茶と茶の湯・茶会文化**  
沼津茶は愛鷹山麓を中心に栽培され、農林水産大臣賞をはじめ多くの賞を受賞。毎年5月の第2日曜日には沼津御用邸記念公園内で「ぬまづ茶会」も行われています。

**江原素六**  
愛鷹山麓で西洋式の牧畜を導入し乳製品や羊毛を生産したり、茶を輸出する会社を興し茶の栽培を広めたりするなど、沼津の産業の発展に大きな功績を残しました。

**長倉三郎**  
柳沢出身の物理化学者。母校である愛鷹小に「ニュートンのりんごの木」を仲介。平成2年（1990）に文化勲章を受章。沼津市名誉市民。

**岡野喜太郎**  
青野出身の実業家であり、スルガ銀行の創始者。平成2年（1990）に沼津市初の名誉市民に選ばれました。岡野公園の中に功績を称える石碑があります。

### 石造物ガイド

仏様が彫られた石造物の総称。地藏様や賽の神、様々な種類があります。

巡拝塔とは、巡礼者が旅の安全を祈願して建立した塔のことです。巡礼の達成を記念して建立されることもあります。沼津市では、江戸時代から「駿河伊豆両国横道」などの観音霊場巡りが盛んでした。

馬頭観音塔  
馬頭観音は頭に馬を乗せた観音様。庶民の間で馬の健康や死んだ馬の冥福を祈るため江戸時代に多く建てられました。

庚申塔  
庚申の日の夜、寝ている人から三尸（さんし）の虫が抜け出し、天帝にその人の罪を告げるとされます。三尸が抜け出ないよう一夜を眠らず過ごす「庚申講」を行う人々が建てた石造物です。

甲子塔  
甲子の日の夜、人々が集まって大黒天を祀り、夜遅くまで雑談をする行事を「甲子待」といいます。甲子講の人々は、「甲子塔」「子待塔」「大黒天」の文字を刻んだ石塔を建てました。

上記以外の石碑・記念碑・供養塔など

神社・祠  
寺院  
石碑・石造物  
水源・水場  
石蔵  
ぬまづの宝100選  
跡地  
遺跡  
古墳  
かつてあった古墳  
巨木  
茶畑

**元野牧跡**  
元野牧は、寛政8年（1796）に江戸幕府が開設し、明治初年に廃止されるまで続いた江戸幕府直轄の牧場の一つです。古代以来愛鷹山に棲息していた野生の馬を、牧の範囲を定めて管理し、年に1回ずつ捕獲しました。幕府が軍馬として使用したほか、一部を地元で農耕用・運搬用として払い下げました。

**愛鷹広域公園**  
愛鷹広域公園の建設に伴い昭和50年代から始まった発掘調査により、旧石器時代から、縄文、弥生、古墳時代にかけての遺物（土器や石器、道具、住居跡など）が良好な形で多数発見されました。愛鷹山は、温暖で気温の変化が比較的ゆるやかであったといわれ、その環境は滞在に適したものであったと考えられます。

**休場遺跡（国指定史跡） 休場遺跡出土細石器（市指定考古資料）**  
地表から2～3メートル下の黄褐色火山灰層（休場層）中から全国で初めて旧石器時代の炉跡が2基発見され、炉の周辺からは当時の人々の残した細石器を中心とする石器が1,000点以上も発見されました。調査の結果、今から約14,000年前の遺跡であることが確認され、昭和54年（1979）、旧石器時代の遺跡として全国で初めて国の史跡指定を受けました。

**拓南訓練所・拓南練成所跡**  
昭和16年（1941）、拓南訓練所（のち練成所）は日本が南方に進出した際の人材育成のために設立されました。敗戦で廃止されるまでに11期、1200余名がここで学び、食糧調達など軍への協力活動に従事しました。

**清水柳北1号墳**  
この古墳は「上円下方墳」と呼ばれる全国的に数少ない形で、現在の場所に移して、復元されています。出土品の須恵器から8世紀初めの奈良時代につくられたとされています。

### モデルコースA

スタート 小屋敷バス停 18分  
① 不動堂 22分  
② 西椎路自治会館の湧き水 15分  
③ 宝珠院 18分  
④ 双体道祖神 19分  
⑤ 妙泉寺 19分  
⑥ 廣大寺 11分  
⑦ 八畳石公園 14分  
⑧ 赤野観音堂 21分  
ゴール 柳沢バス停

### モデルコースB

スタート 小屋敷バス停 18分  
① 不動堂 22分  
② 西椎路自治会館の湧き水 15分  
③ 宝珠院 18分  
④ 双体道祖神 19分  
ゴール 鳥谷バス停

